

2011年5月30日
東日本旅客鉄道株式会社

サピアタワーをはじめとする4つのビルの 「優良特定地球温暖化対策事業所」認定について

このたび、当社が事業主であるサピアタワー、JR品川イーストビル、JR東急目黒ビル、東京ビルの4つのビルが東京都環境確保条例の「優良特定地球温暖化対策事業所」として、東京都から2011年5月26日に認定を受けました。

これら4つのビルは、オフィス・商業・ホテル等の複合用途ビルとして多くのお客さまにご利用いただいておりますが、今回の認定はCO₂などの温室効果ガスの排出削減に優れたビルとして、エネルギー効率の高い設備の導入や、運営管理面での積極的な取り組みが評価されたものです。

JR東日本グループでは、今後も環境や省エネルギーに配慮した建物の開発・運営管理を進めてまいります。

1. 認定された「優良特定地球温暖化対策事業所」

○トップレベル事業所

サピアタワー

○準トップレベル事業所

JR品川イーストビル、JR東急目黒ビル(区分所有)、東京ビル(共有)

2. 「優良特定地球温暖化対策事業所」について

(1) 認定基準

「設備及び建物性能」や「事業所の運用」等の省エネルギーに寄与する評価項目(228項目)において下記の得点を取得し、トップレベル/準トップレベルの認定基準に適合すること

○得点80点以上 ⇒ トップレベル事業所

○得点70点以上 ⇒ 準トップレベル事業所

(2) 認定の効果

対象事業所の地球温暖化効果ガス削減義務率の軽減

○トップレベル事業所 ⇒ 削減義務率を1/2に減少

○準トップレベル事業所 ⇒ 削減義務率を3/4に減少

3. 各ビルの特徴

・サピアタワー

国交省が主導する建築物の環境性能評価システム「CASBEE(新築)」で最高位「S」を認定取得(2009年度)

・JR品川イーストビル、東京ビル

エネルギー効率がよく、環境負荷の小さい地域冷暖房方式の採用

・JR東急目黒ビル

個別空調制御による高効率な管理方式で省エネルギーを実現

4. 今後の予定

2011年度は、下記のビルで「優良特定地球温暖化対策事業所」の申請を検討しております。
(新規申請)

グラントウキョウサウスタワー、ノースタワー(共に区分所有)
(準トップレベル⇒トップレベルへのレベルアップ申請)

JR品川イーストビル、JR東急目黒ビル(区分所有)

*各ビルの概要

物件	サピアタワー	JR品川イーストビル	JR東急目黒ビル	東京ビル
竣工年月	2007年3月	2004年2月	2002年3月	2005年10月
所在地	千代田区丸の内	港区港南	品川区上大崎	千代田区丸の内
階数	B4F～34F	B3F～20F	B4F～17F	B4F～33F
延床面積	約78,000㎡	約62,000㎡	約52,000㎡	約149,000㎡
主用途	オフィス、店舗、 ホテル、貸会議室	オフィス、店舗	オフィス、店舗	オフィス、店舗
事業主	東日本旅客鉄道(株)	東日本旅客鉄道(株)	・東日本旅客鉄道(株) ・東京急行電鉄(株)	・三菱地所(株) ・東日本旅客鉄道(株) ・(株)三菱東京UFJ銀行
運営管理 会社	・(株)ジェイアール東日本 ビルディング ・日本ホテル(株)	・(株)ジェイアール東日本 ビルディング ・(株)アトレ	・(株)東急コミュニティ ・(株)ジェイアール東日本 ビルディング ・(株)アトレ	・三菱地所ビルマネジメント(株)



サピアタワー



JR品川イーストビル



JR東急目黒ビル



東京ビル